

幼稚園教諭・保育士養成校における実習での 音楽実技についての考察

～アンケート調査を通して～

A Study of Practical Music Skills in Practical Training at Kindergarten Teachers and
Childcare Workers Training Schools
～ Through a Questionnaire Survey ～

深 谷 悠里絵 佐々木 郁 子

Yurie Fukaya

Ikuko Sasaki

In this study, we will analyze and verify the differences in piano performance skills required by different preschools, what exactly is required, what preparations students make for the practical training, and what they notice and issues they face after completing the training.

In addition, for many years piano was considered essential for nursery school teachers in employment examinations, but we have heard from many students that there are now kindergartens and nursery schools that do not have a practical piano exam, but only a paper and an interview. We will investigate the treatment of piano in practical training through a survey of students and investigate whether or not piano exams are required for employment, focusing on job applications.

1. はじめに

本学幼児教育学科の学生は、幼稚園教諭免許と保育士資格取得を目指し、必要単位を学修し、実習に取り組んでいる。筆者は、その中で音楽科目や実技ピアノの授業を担当している。また、幼稚園や保育所、施設実習の訪問巡視を行い、学生の日々の学びや取り組みがどのように活かされ、何が必要とされているのか、現場の先生方から直接話を伺う機会がある。

本学に入学する前までのピアノの学習歴は様々で、幼稚園の頃からピアノを習っていた学生もいれば、独学で弾いてきた学生、全くピアノを弾いたことが無い学生も中にはいる。しかし、学習歴に関係なく2年間の授業回数は同じで、実習でも同じことを求められる。朝のごあいさつ、お弁当や給食、お帰りのごあいさつのうたなど、様々な場面でピアノを用いた音楽・歌唱活動に取り組み、多くの幼稚園では、季節のうたを月ごとに定めて一緒に歌ったり、身体表現や器楽演奏なども行っている。

「実習生にピアノの実践力を望む幼稚園が多いということは、現実的に幼稚園では音楽活動

が盛んに行われており、ピアノの習得は必須であることを示唆していると考えられる。」と大野¹が述べているように、多くの園でピアノを用いた音楽活動が行われている現実があり、それに合わせた指導や取り組みがそれぞれの養成校で行われていることがわかる。

学生は自分の技術を高めながら、実習で園側からの要求にこたえられるように、授業の中だけでなく個人練習に励み、準備をしているが、なかなか上手く準備が進められず苦しんでいる学生もいる。

実習巡視に伺った際「ピアノは苦手であれば違う方法を考えればよい」「一緒に歌ったり楽しく活動できることが大事」というピアノにそんなに力を入れていない園もあれば、「ピアノの事前準備が不十分である」「弾き歌いができない」「もう少し練習が必要」など、直接指導をいただく園もあった。

本研究では、園によって求められるピアノ演奏技術の差から、具体的にどのようなことが要求され、学生はどんな準備をして実習を迎えているのか、実習を終えて気づきや課題などについて分析・検証していく。

また、長年保育士には就職試験でもピアノは必須とされていたが、現在はピアノの実技試験がなく、論文や面接のみの幼稚園や保育園もあることを学生から多く聞かれる。実習でのピアノの扱いについて学生へのアンケートで調査し、就職でのピアノ試験の有無について、求人票を中心に調査を行う。

2. 研究の背景

筆者はこれまで、令和3年郡山女子大学紀要 第58集において「『保育表現技術 器楽Ⅱ』実習での音楽活動から考えるピアノ演奏技術のあり方～聞き取り調査を踏まえて～」²の原著論文を掲載し、課題を踏まえた授業を展開しているが、音楽に力を入れている園や体育に力を入れている園、また自由保育で特に決まった活動はない園など、園によって方針は様々でピアノの取り扱いに差がある現実が分かってきた。

例年、本学の幼稚園実習の時期は6月であるため、求められる曲目や音楽活動はだいたい決まってきたているが、近年ピアノや楽器を使わずに、YouTubeからフリー音源を使用したり、Bluetoothでスマートフォン等をスピーカーに繋いで、その音源にあわせて音楽活動をしている園もあるようだ。第58集の調査の時にも、ピアノの使用をしない園があることに大変驚いたが、ICTなど様々な機器が発達して、園によってはタブレットなど、最新の機器を導入しているため、一概にこれまでの活動を踏襲することは難しいようにも思える。

第58集でのアンケート調査においては、筆者が担当していた19名の学生で偏りがあったため、本研究では幼稚園実習を終えた2学年(84名)にアンケート調査を行い、質問項目も具体的な内容がわかるように組み立てた。公立園や私立園、また幼稚園やこども園、園児の人数によって取り組みに違いがあるのか、そこにも注目して調査を進めていく。

3. 研究方法

本学2学年に在籍で、教育実習の授業を履修している学生を対象として、計84名に紙面によるアンケート調査(表1)を行った。

アンケート時期：令和5年7月3日～17日

アンケート方法：教育実習事後指導の授業内

アンケート回答方法：項目複数選択、自由記述

4. 倫理的配慮

本研究については、郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部人を対象とする研究に関する倫理委員会による承認を受けている(課題番号2023-102)。また、授業での声かけや紙面にも「※本アンケートは、成績評価とは無関係であり、回答者の個人を特定しないため、回答の有無によって不利益を被ることはありません。本アンケート結果は、教育・研究の目的以外には使用いたしません。」と記載し、学生の個人情報や園の特定がされないような配慮を行ったうえで、調査を行った。

5. 調査結果

①実習園の形態(設置)

1. 公立園…28園(幼稚園12園 こども園16園)

2. 私立園…56園(幼稚園37園 こども園17園)

②実習園の形態(種類)

1. 幼稚園…49園

2. 認定こども園…33園

③実習園の形態(園児数)

【公立幼稚園】		【公立こども園】	
50名未満	5園	50名未満	5園
50名～100名	4園	50名～100名	5園
101名～150名	2園	101名～150名	5園
151名以上	1園	151名以上	1園

【私立幼稚園】		【私立こども園】	
50名未満	3園	50名未満	1園
50名～100名	9園	50名～100名	3園
101名～150名	16園	101名～150名	7園
151名以上	9園	151名以上	6園

④実習で行った音楽活動について

子どもたちとどんな音楽活動を行いましたか？

【公立幼稚園】

実習で行った音楽活動(複数回答)	人数
歌唱活動	10
リズム遊び	6
楽器演奏	3
手作り楽器	2
リトミック	0
その他	0
音楽活動を行わなかった	0

【公立こども園】

実習で行った音楽活動(複数回答)	人数
歌唱活動	14
リズム遊び	5
楽器演奏	0
手作り楽器	1
リトミック	1
その他	1
音楽活動を行わなかった	1

【私立幼稚園】

実習で行った音楽活動(複数回答)	人数
歌唱活動	32
リズム遊び	10
楽器演奏	10
手作り楽器	3
リトミック	7
その他	1
音楽活動を行わなかった	3

【私立こども園】

実習で行った音楽活動(複数回答)	人数
歌唱活動	13
リズム遊び	5
楽器演奏	5
手作り楽器	4
リトミック	5
その他	0
音楽活動を行わなかった	1

⑤実習期間中、子どもたちの前でピアノを弾く機会はありましたか？

⑥「はい」と答えた方への質問です。幼稚園実習中、子どもたちの前で何回ピアノを弾きましたか？

【公立幼稚園】

実習中ピアノを弾く機会があったか	回数	人数
はい：6名 いいえ：6名	2回	2
	4回	3
	6回	1
	8回	3

【公立こども園】

実習中ピアノを弾く機会があったか	回数	人数
はい：12名 いいえ：4名	1回	1
	2回	2
	4回	3
	5回	2
	8回	1
	10回	2
	20回以上	1

【私立幼稚園】

実習中ピアノを弾く機会があったか	回数	人数
はい：35名 いいえ：2名	1回	2
	2回	3
	3回	1
	4回	4
	5回	3
	6回	6
	7回	2
	8回	3
	9回	2
	10回	3
	20回以上	6

【私立こども園】

実習中ピアノを弾く機会があったか	回数	人数
はい：16名 いいえ：1名	2回	1
	3回	4
	4回	1
	5回	3
	6回	1
	9回	1
	10回	2
	13回	1

⑦事前にピアノを練習してくるよう指定された曲目はありましたか？

公立幼稚園……はい：6名 いいえ：6名 公立こども園……はい：8名 いいえ：8名
私立幼稚園……はい：30名 いいえ：7名 私立こども園……はい：14名 いいえ：3名

その曲はどんなものでしたか？

【公立幼稚園】

指定された曲	人数
朝のうた	1
おべんとうのうた	1
おかえりのうた	1
さようならのうた	3
シューベルトの子守歌	1
かたつむり	2
あめふりくまのこ	1
にじ	1
おたまじゃくし	1
すてきなパパ	1
歯をみがきましょう	1
お誕生日	1

【公立こども園】

指定された曲	人数
朝のうた	3
おべんとうのうた	1
おかえりのうた	3
園歌	2
かえるのうた	3
かたつむり	1
あめふりくまのこ	2
英語が大好き	2
お誕生日おめでとう	1
子ども会のうた	1
拍手	1

【私立幼稚園】

指定された曲	人数	指定された曲	人数	指定された曲	人数
おはようのうた	11	国歌	2	すてきなパパ	1
朝のうた	8	讃美歌	3	だからあめふり	1
おべんとうのうた	15	幼稚園の前奏・後奏曲	2	にじ	1
おかえりのうた	10	かえるのうた	5	おたまじゃくし	1
さようならのうた	10	かたつむり	6	ちょうちょう	1
おねむりの曲	4	とけいのうた	3	夕焼け小焼け	1
シューベルトの子守歌	3	あめふりくまのこ	3	ことりたちは	1
ベートーヴェンの子守歌	2	きらきら星	3	小さいおてて	1
ねむれねむれ	3	大きな古時計	1	メリーさんのひつじ	1
おきよおきよ	6	とけいやのとけい	1	ディズニーやジブリ	1
園歌	4	えらいパパ	1		

【私立こども園】

指定された曲	人数	指定された曲	人数
おはようのうた	3	にじ	2
朝のうた	6	たなばたさま	1
おべんとうのうた	4	かえるのがっしょう	1
おかえりのうた	9	ちょうちょう	1
さようならのうた	2	すてきなパパ	1
園歌	2	ライオンはみがき	1
おきよおきよ	1		
ベートーヴェンの子守歌	1		
シューベルトの子守歌	1		
あめふりくまのこ	5		
とけいのうた	4		

⑧楽譜を事前に渡されていた場合は、曲目を教えてください。

【公立幼稚園】

配布された楽譜	人数
朝のうた	1
おべんとうのうた	1
おかえりのうた	1
さようならのうた	1
シューベルトの子守歌	1
かたつむり	1
あめふりくまのこ	0
にじ	0
おたまじゃくし	1
すてきなパパ	1
歯をみがきましょう	1
お誕生日	1

【公立こども園】

配布された楽譜	人数
朝のうた	3
おべんとうのうた	1
おかえりのうた	3
園歌	2
かえるのうた	0
かたつむり	0
あめふりくまのこ	0
英語が大好き	2
お誕生日おめでとう	1
子ども会のうた	2
拍手	1
あまだれぼったん	1

【私立幼稚園】

配布された楽譜	人数	配布された楽譜	人数	配布された楽譜	人数
おはようのうた	8	幼稚園の前奏・後奏曲	2	ちょうちょう	2
朝のうた	2	かえるのうた	3	夕焼け小焼け	0
おべんとうのうた	8	かたつむり	2	ことりたちは	1
おかえりのうた	5	とけいのうた	1	小さいおてて	1
さようならのうた	9	あめふりくまのこ	2	メリーさんのひつじ	0
おねむりの曲	2	きらきら星	0	ディズニーやジブリ	0
シューベルトの子守歌	3	大きな古時計	0	青い空に絵をかこう	1
ベートーヴェンの子守歌	2	とけいやのとけい	1	1・2の3のごあいさつ	1
ねむれねむれ	2	えらいパパ	1	てんのおとうさま	1
おきよおきよ	2	すてきなパパ	1	むすんでひらいて	1
園歌	4	だからあめふり	1	おかたづけ	1
国歌	2	にじ	1	はなひらく	1
讃美歌	3	おたまじゃくし	0	きれいなあさです	1

【私立こども園】

配布された楽譜	人数	配布された楽譜	人数
おはようのうた	2	にじ	1
朝のうた	2	たなばたさま	2
おべんとうのうた	2	かえるのがっしょう	0
おかえりのうた	5	ちょうちょう	0
さようならのうた	2	すてきなパパ	0
園歌	2	ライオンはみがき	1
おきよおきよ	1	ちっちゃないちご	2
ベートーヴェンの子守歌	1		
シューベルトの子守歌	0		
あめふりくまのこ	4		
とけいのうた	3		

⑨音楽活動で特に難しいと感じたことはどんなことでしたか？（複数回答可）

【公立幼稚園】

音楽活動で特に難しいと感じたこと	人数
ピアノを弾くこと	3
歌を歌うこと	3
子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと	7
弾き歌い	6
間違えないようにピアノを弾くこと	3
音楽表現	0
楽器演奏	0
年齢に合った選曲	1

【公立こども園】

音楽活動で特に難しいと感じたこと	人数
ピアノを弾くこと	3
歌を歌うこと	5
子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと	8
弾き歌い	8
間違えないようにピアノを弾くこと	8
音楽表現	3
楽器演奏	0
年齢に合った選曲	2

【私立幼稚園】

音楽活動で特に難しいと感じたこと	人数
ピアノを弾くこと	14
歌を歌うこと	7
子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと	24
弾き歌い	26
間違えないようにピアノを弾くこと	21
音楽表現	1
楽器演奏	2
年齢に合った選曲	6
その他(ピアノもCDも無い中での音楽活動)	1

【私立こども園】

音楽活動で特に難しいと感じたこと	人数
ピアノを弾くこと	7
歌を歌うこと	2
子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと	6
弾き歌い	10
間違えないようにピアノを弾くこと	8
音楽表現	3
楽器演奏	1
年齢に合った選曲	1
その他 (子どもたちのリズム(テンポ)に合わせること)	2

⑩音楽活動をするために必要だと思う事はどんなことですか？

【公立幼稚園】

・練習	・経験	・知識	・イメトレ
・歌詞を覚えておくこと。	・間違えても動揺しないこと。		
・音楽をたくさん知っておくこと。			
・手遊びをたくさんできるようにしておく。			
・演奏を間違えても止まらないで歌うこと。			
・園児の様子を確認しながら弾くこと。			
・子どもに合わせて速度を変えたり、音量を変えたりすること。			
・ひらがなで大きく歌詞を書き、視覚的支援をする。			
・読めない子どものために歌いだす前に歌詞を言うこと。			
・保育者自身が楽しむこと。元気に表現すること。			
・決まった音や曲調だけでなく、自分で考えながらやること。			
・年齢、季節、子どもたちの興味に合った曲を選ぶこと。			
・子どもたちが主体的になれる活動の流れ。			
・楽器の正しい使い方の指導方法。			

【公立子ども園】

・自信がつくまで練習。 ・事前練習。	・笑顔で楽しく行う事。	・元気に楽しむこと。	・事前準備。
・ただピアノを弾くだけではなく、子どもたちの様子を見ながら子どもたちに合わせて弾くことが必要だと思う。			
・子どもたちが歌いやすいように丁寧に導入を行う事。 ・歌詞を覚えられるように1から伝える。			
・保育者が視覚教材(絵など)を用いて、歌詞を説明することで子どもたちがより歌いやすくなると思う。			
・なぜその活動をするのか(目的)、歌を歌う季節を考える。			
・弾き歌いの時、ピアノは止まらずに歌うこと。			
・ピアノなど楽器を使う時に間違えても止まらない心。			
・子どもと一緒に楽しんで歌やピアノを弾くこと。			
・ピアノを弾いて歌って終わりではなく、手を動かしたり輪唱してみたり、子どもたちの興味をひかせること。			
・年齢に合った選曲をすること。 ・子どもたちの前ではっきり歌い、身体を動かす。			
・音楽活動の中に遊びの要素を取り入れて、楽しく活動ができるようにすること。			
・間違えても弾き続ける。			
・できたら小さいことでも褒める。 ・ピアノで弾き歌いの練習を常にしておくこと。			
・子どもたちをよく見ながら弾くこと。 ・子どものことも考えながら声の大きさやリズムを考えること。			
・ピアノを弾くときは子どもの様子を見ながら、子どもたちと一緒に楽しく活動すること。			
・子どもたちをひきつけ、歌が楽しいと感じてくれるような導入をすること。 ・楽しむこと、笑うこと。			
・保育者の動揺が子どもたちに伝わらないように平然としていることが大事。			
・子どもたちが歌いやすいようにリズムやテンポを合わせること。			
・子どもたちが歌えるように歌詞を掲示したり、確認しながら歌うことが大切だと思った。			
・子どもたちが歌いたいと思う選曲やピアノの練習も重要であると思った。			

【私立幼稚園】

・子どもの年齢や興味にあわせて選曲すること。 ・季節に合った選曲をすること。	・子どもがしっかり歌えるように歌詞の先読みをしたり、ピアノを右手だけでも止めないことが大切。
・ピアノの音に声量が負けないようにすること。 ・子どもたちの方を見てピアノを弾くこと。	・場合によっては、歌詞を先に言って子どもたちが歌いやすくなるような援助。 ・大きな声で歌うこと。
・保育者が笑顔で楽しそうに弾き歌いすること。 ・歌う前にどんな曲であるか伝えること。	・声を張り、元気よく歌うこと、またピアノを弾くこと。 ・子どもたちと一緒に楽しんで元気に活動すること。
・子どもたちと一緒にコミュニケーションを取りながら、一緒に楽しむこと。	・わかりやすい表現で子どもたちに伝えること。 ・ピアノを失敗しても子どもと楽しく歌えること。
・子どもの歌うスピードに合わせて伴奏を弾くこと。 ・子どもに寄り添ってピアノを弾くこと。	・楽しみながら活動をする事。 ・最低限の音楽の知識が必要。 ・楽しむこと。演奏や歌唱を強制しないこと。
・活動するうえで、保育者が子どもたちをリードして行うことが大切。 ・練習。	・とにかく楽しむ！
・子どもたちが好きそうで、興味のある曲を選曲すること。 ・技術が必要だと思った。	・子どもたちが楽しみながら音楽活動ができる環境づくりや声掛けをすること ・自分自身も楽しむこと。
・広く視野を持つことや大きな声で歌う事。 ・子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと。	・ピアノを間違えても戻らずに進むこと。(弾き続けること) ・保育者も一緒に楽しむこと。
・自信を持つこと。	・余裕を持つこと。(緊張から心に余裕がないと子どもたちにも伝わり、不安を与えてしまうから。)
・ピアノを間違ってしまったても、歌は止まらずに歌い続けること。 ・日頃からピアノに触れておくこと。	・ピアノや楽譜だけを見ずに子どもを常に見ながら演奏すること。 ・大きな声で歌い子どもたちをリードすること。
・たとえピアノが苦手でも、険しい顔はせずに笑顔で子どもたちと楽しく行うこと。	

<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命弾くことも大切だが、子どもたちと一緒に歌う事。 ・子どもにリズムを合わせてピアノを弾くこと。
・ピアノを弾くことに夢中にならず、子どもたちの様子を見ながらピアノを弾くことが必要だと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味を持ってくれるような導入をすること。 ・子どもの歌い方やスピードに合わせて弾くこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもってピアノを弾き、大きな声で楽しそうに歌う事。 ・季節に合った曲を選ぶこと。 ・ピアノが弾けなかったら違うことを考えること。 ・楽しく大きな声で歌い、大きな声で指導すること。
・子どもたちが歌いやすいように支援することや笑顔で楽しく歌うことが必要だと思った。
・子どもたちと楽しんで取り組むこと。 ・失敗しても止まらずに続ける勇気が必要だと思った。
・曲に合った表情をつけて、その曲らしい印象(雰囲気)を出せるよう心掛けることが大切だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・失敗しても恐れずに、前向きに行う事。 ・事前の準備・確認・必要に応じて楽器の練習。 ・大きい楽譜を準備。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段から様々な音楽に触れて、音楽に興味を持つこと。 ・年齢に合った曲や季節に合った曲を選ぶ。 ・子どものお手本となるように表情豊かに行う。 ・活動を始める前にピアノを弾けるようにするなど準備が大切。

【私立子ども園】

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと音楽を楽しむために、ピアノを事前にしっかり弾けるように練習することが必要だと思う。 ・子どもの年齢に合った選曲をすること。 ・ピアノを弾きながらも、常に子どもの様子を観察すること。 ・明るく笑顔で楽しそうに活動すること。 ・保育者自身が楽しむこと。 ・弾きながら笑顔で歌うメンタル。
<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ、動きなど子ども達に伝わりやすいように表現すること。 ・間違えても次に進める力。 ・子ども達を置いていかずに、楽しく行うこと。 ・弾きやすいように、見本の見せ方や、声かけの仕方など。 ・子ども達の様子を見て、音のスピードや音量を考えて行うこと。 ・自信を持って弾けるようになること。
<ul style="list-style-type: none"> ・間違ったとしても最後までやり通すこと。 ・歌やピアノのうまい下手ではなく、笑顔で楽しく歌うこと。
・歌唱活動の際、子ども達に正しい音程や歌詞が伝わるように伴奏し、一緒に歌うこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加できるような導入や言葉掛け、支援。 ・音楽の楽しさを伝えること。 ・音楽に触れて、大きな声で歌ったり、季節に触れること。 ・子どもの意欲、興味を惹きつけること。
・いろいろな音(楽器から出る音だけではなく、日常の中の音)を聞いて、音に親しみを持てるようにする。
・歌詞カードを作って掲示するなど、子ども達が歌いやすいような環境をつくること。
・歌い終えた後に、「上手だね」「この部分が元気よく歌えていてよかったね」など、前向きなフィードバック。
・季節や行事に合っている曲や、明るい曲、有名な曲にすることが必要。

⑪音楽活動に関して困ったことはどんなことですか？

【公立幼稚園】

<ul style="list-style-type: none"> ・自分が想像していたことと、子どもの動きが違ったところ ・音楽遊びが最後はダンスになってしまったところ
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の子どもが歌ってくれなかったり、ダンスをしってくれなかったりしたとき。 ・立ちながら弾いたこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが歌詞を覚えていなくて声が小さくなってしまったとき。 ・園独自のピアノを使った合図があったこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びが分からなくて、子どもが止まってしまったとき。 ・間違えたときに止まってしまう。 ・ピアノを弾くときに子どもの様子が見られず、歌い出しに歌詞を言うことができなかった。 ・ピアノの音に自分の声が負けてしまった。 ・伴奏をやり直したら子どもたちを混乱させてしまった。 ・子どもの歌声がピアノの音に勝ててしまい、ピアノが聞こえなくなった ・音を出すタイミングを揃えられない。

・ピアノを間違えてしまったときに、続きから弾くか歌って乗り切るか迷った。
・こちらが楽器を鳴らしても見ていない子が多かったため、一人一人に改めて説明をしたこと。
・真似してほしいことが伝わらなかったり、バラバラに表現してしまったりする。
・子どもたちが歌いたいと思った曲の楽譜を持っていなかった。
・1から教えて、曲を完成させる難しさ

【公立子ども園】

・急に「ピアノを弾いていいよ」と言われたこと。
・子どもの様子を見ながらピアノを弾くときに間違えてしまう。
・ピアノを弾き間違ってしまったとき、子どもたちが歌うのをやめてしまったこと。
・子どもたちの前に出てピアノを弾くと、緊張して子どもたちに聞こえるような声で歌を歌うことができなかった。
・楽譜をもらえず、曲も教えてもらえなかったため、責任実習で普段歌っている季節のうたが弾けなかった。
・子どもたちが知らない歌を歌う時に歌詞をどのように教えればよいか困った。
・自分で音楽活動をするときは、興味を示さずに歌わない子どもや楽しくないような子どもがいたら対応
・歌の始まりと終わり方が定まらず、メリハリがうまくつけられなかった。
・ピアノを間違えないように楽譜と手元を見ていると、歌詞を見ることができず、歌うことが難しかった。
・朝のうたが今まで聞いたことがない曲だったため、覚えるのが大変だった。
・楽譜を配られたのが、部分実習の前日だったため、1日で弾けるようにするのが大変だった。
・子どものその日の気分に合わせることに。気分が乗らず一緒に活動ができない子への対応が難しかった。
・ピアノを弾きながら、子どもたちの様子を確認したり声がけをすること。
・子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと。・たくさん練習して、歌えるくらい暗譜すること。
・一斉保育ではなく、自由保育だったため、それぞれの子どもへの対応が大変だった。
・急に「ピアノを弾いて!」と子どもからリクエストがあったが、弾けずに困った。

【私立幼稚園】

・ピアノを弾きながら歌うことが難しかったこと。・弾き歌いの時の歌とピアノのバランスのとり方。
・歌を使ったゲームを行ったが、子どもたちはそのゲームも歌もわからず、成り立たなかったこと。
・間違わずにピアノを弾くこと。・子どもの前で手が震えてしまい、いつも通り弾けなかった。
・ピアノを弾くことだけでなく歌も歌うことで、手がうまく動かなくなってしまう。・楽譜が読めない。
・子どもたちの様子を見ながら弾き歌い。
・ピアノを弾くことに緊張してしまい、止まってしまったこと。
・歌う前にうるさくなってしまうことがあったため、静かにさせて、音楽に興味を持たせること
・歌を歌う時に子どもの様子を見ながら弾いたり、間違えた後に落ち着いて途中から弾けるようにすること。
・ピアノが気になって、1人が前に出て見に来ると他の子どもも気になりだしてなかなか進まなかったこと。
・リトミックを行ったときに、子どもたちが曲よりも先の行動をしてしまったこと。・両手で弾けない。
・子どもたちの様子を見ながら演奏する事が難しかった。・大きな通る声で歌うことが難しかった。
・ピアノが弾けなくなると、子どもたちの歌も止まってしまったこと。
・やりたがらない子どもがいること。
・保育者が普段5回転調させる「かえるのがっしょう」を弾いていたこと。・園歌を覚えること。
・ピアノを間違えてしまったとき、途中から入れなかったこと。
・緊張して弾き方がわからなくなってしまった。
・子どもたちに弾けない曲をピアノで弾いて!と言われたこと。
・ピアノに興味を示して近くに集まったが、これから歌う時にピアノを触る子どもが多く、声がけが大変だった。
・子どもの歌のスピードにピアノを合わせて弾き歌いすることが難しかった。
・季節のうたがピアノの本に載っていない曲だったため、Youtubeで調べて練習を行ったこと。
・ピアノを教えてほしいと伝えられた時に上手に教えてあげられなかったこと。
・ピアノのテンポが事前の練習より早かったため、実習中にも練習したこと。
・初めて歌う曲だったため、子どもたちは歌えずに困っていたこと。(次第に手拍子をして、歌ってくれた。)

・「あめふりくまのこ」や「うみ」を子どもたちが知らず、一緒に練習し、歌詞を言いながらピアノを弾くこと。
・鼓笛に関して、「できないからやりたくない」という子どもが何人かいた。
・ピアノ伴奏やCDの音楽など他に音楽が無い場面で、自分で流れを作って子どもたちと一緒に楽しく歌うこと。

【私立子ども園】

・練習してきたリズムと子どもたちの歌うリズムが違った時に、合わせるのが難しくて困った。
・緊張した。
・子ども達が普段歌っているスピードがどのくらいかわからないため、初めて子ども達の前で弾く時に戸惑った。
・幼稚園のピアノを初めて使ったため、使い方がわからなかった。
・一度間違えたら、先に進めないこと。
・子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと
・楽器に夢中になってしまっ、なかなか話を聞いてくれないこと。
・ピアノを弾いている時に、違う行動をとる子どもへの対応 ・弾きながら歌うのが難しい。
・子ども達は、ピアノでミスをしてもしまらないで歌い続けるため、合わせるのが難しい。
・事前に楽譜を渡されたが、リズムが難しくて一人ではできなかった。
・練習をしてきた伴奏の速さと会わず、子どもの歌声に合わせて弾くことが難しく感じた。
・子ども達が歌詞を間違えているところがあり、そのことに対する声かけがわからなかった。
・子どもから「〇〇がいい」と言われ、その曲が弾けなかった時の対応の仕方に困った。
・練習していた曲と違ったため弾けずに困ったが、子ども達に「歌で助けてほしい」と声かけてなんとかなった。
・ピアノが途中で止まったときに、途中から入って弾くことができなかった。
・子どもは何の曲であれば知っていて歌えるのかわからなかったこと。
・同じ「さようならのうた」でも、前奏が少し違うだけで、歌いづらそうな場面があった。

⑫実習前に準備しておけばよかったと思う事はどんなことですか？

【公立幼稚園】

・使う物の材料を確認しておけば良かった。 ・ピアノ・歌・弾き歌いの練習。
・イメトレが足りなかった。子どもたちがいると想定した練習。
・伴奏型をもっと前から決めて練習しておくべきだった。 ・歌詞を書いた模造紙。
・右手だけでも弾けるようにしておけば良かった。 ・季節の歌のレパートリーを増やすこと。
・曲の1番しか覚えていなかったから、2番まで覚えておけばよかった。
・曲のレパートリーを増やすこと。ピアノ、リズム遊び、歌唱など。
・視覚的にも楽しめるように、イラストや写真を準備しておけばよかった。
・楽譜を自分で準備しておくべきだった。 ・ペープサートなど、隙間時間にできること。

【公立子ども園】

・すぐに弾ける曲をもっておくこと ・歌いながら弾くこと。
・子どもに喜ばれるエプロンシアターなどを作って、楽しい気持ちになってもらえる準備。
・弾ける曲のレパートリーを増やすべきだった。 ・歌詞をしっかりと覚えていく。
・誰かの歌に合わせて弾く練習もしなければならなかった。
・ピアノは事前にたくさん練習しておくこと ・季節のうたのレパートリーを増やすこと。
・歌を何回繰り返してどのように歌うのかしっかり計画しておくこと。
・季節のうたをたくさん調べて、子どもたちが歌っている曲と一緒に歌えるようにしておくこと。
・子どもたちの様子が見られるくらい練習すること。 ・年齢に応じた言葉の使い分け。
・手元を見ずに弾けるように練習すること。 ・子どもの前で堂々と話せるようにすること。
・季節に合わせた曲の歌詞を覚えておく、と自信をもって子どもたちと一緒に歌えたと思う。

【私立幼稚園】

・子ども達の間で流行っている歌を歌いながらできるペープサートやパネルシアターなども作っておけばよかった。
・隙間時間でもできるようなリズムダンスなどを少しでも考えて用意しておけばよかった。
・間違わずに弾けるように更に練習をしておけばよかった。 ・子どもたちの方を見て弾けるようにすること。
・間違ってもすぐ弾けるように練習の時から失敗しても続けて弾くようにしていればよかった。
・制作活動について工程をしっかり把握し、細かなことを決めておけばよかった。 ・ピアノ・弾き歌いの練習
・自分が納得いくまでピアノを練習すること。 ・声掛けのパターンを考えること。
・流れをきちんと把握すること。 ・歌(歌詞)を先に言う練習 ・元気に大きな声で歌う練習
・楽譜を暗譜するほど練習しておくこと。 ・ピアノの練習のみでなく、歌と一緒に弾けるようにすること。
・歌詞をしっかりと覚えたり、弾ける曲を増やしておけばよかったと思う。 ・歌い方やテンポの変え方、レパートリー
・にぎやか、静かといったクラスの様子も考えて、練習することが大切。 ・もっと練習すること。
・保育者がどの曲を弾いて、どのように流れを作っているのかを知り、同じようにできるようにしたかった。
・季節の歌をもう少し練習しておきたかった。 ・季節の曲のレパートリーを増やしておくこと。
・転調させることを練習するべきだった。 ・間違えても止まらずに最後まで弾ききることを習慣づけておくこと。
・ピアノの練習をもっと前から行っておくべきだと思った。 ・ミスをしないうちに、たくさん練習すること。
・季節のうたを1曲しか準備していなかったため、暗譜で弾ける幼児曲が無かった。 ・緊張に負けない。
・声を出してうたい、ピアノを弾くことを練習しておけば止まらずにできたと思う。 ・制作活動、指導案。
・何回も練習して、楽譜を見なくてもピアノを弾けるようにすること。 ・季節のうたは何が良いのか聞くこと。
・季節に合った歌をいつでも楽譜なしで弾けるようにしておけばよかった。
・子どもたちが好きなアニメやTVの歌を把握しておくこと。 ・自信が持てるまで、とにかく練習をすること。
・楽譜をスケッチブックに貼ったり、ファイルに1枚1枚開けるように整理すればよかった。
・弾き歌いを何度も練習して子どもたちの様子を見れるようにしておくこと。 ・梅雨や夏に向けた歌の練習
・子どもたちと制作活動をした際、もう少しわかりやすい説明を事前に考えておけばよかったと思った。
・季節のうたを歌うだけではなく、少し振付などを加えて子どもたちと楽しむ工夫を考えておいた方が良かった。
・もしもの場合をもっと深く考え準備することが必要だと思った。
・鍵盤を見ずにピアノを弾けるようにすること。 ・静かにしてほしい時、手遊びをたくさん覚えておくこと。
・子どもが興味を持っていそうな曲を事前に聞いて一緒に歌ったり踊ったりすることができたら良かったと思った。
・手作り楽器を行ったので、わかりやすい大きさにして準備しておけば良かった。

【私立子ども園】

・楽譜に集中するのではなく、子ども達の様子を見ながら弾き歌いができるようにすること。
・スムーズに音楽活動に入ることができるよう、事前にピアノの使い方を質問しておく必要があった。
・ヨコミネ式でピアノを練習していたため、ピアノの指導方法や支援の仕方について。
・ピアノを弾く前の対応と後の対応のイメージをもう少し考えておけばよかったと思う。
・子ども達の前で弾ける曲を、もう少し覚えておけばよかった。 ・楽譜の整理とピアノ練習。
・事前に言われなかった季節の歌なども弾き歌いを練習しておけばよかった。 ・弾き歌いの練習。

・ピアノを弾いても弾かなくてもいいと言われていたが、練習をして1曲でも子どもの前で弾いてみればよかった。
・「歌うときの立ち方」など、写真や絵などの視覚的教材を準備しておいて、掲示できるとよかったと思った。
・自己紹介をするカード・絵本・ペープサート・手作りしたもの・手遊びの練習。
・歌詞を先にリードすること。
・梅雨に関する歌を練習しておけばよかった。 ・心配な伴奏を完璧にしておくべきだった。

⑬その他、感じたことや気づいた事があれば自由に書いてください。

【公立幼稚園】

・自分が予想していなかった行動をしたときの対応力が本当に重要になってくると感じた。
・予想していなかったことの対応の仕方を事前に考えておくべきだった。
・周りを見ながら歌えるようにする。 ・子どもは音楽を楽しんでいる。
・ピアノが止まっても子どもは歌うから、メロディーだけでも弾けるようにするのが大切。
・ピアノの音に合わせず、自分のペースで歌っている子どももいることに気付き、焦ってしまった。
・間違えても焦らず、臨機応変に対応することが大切。 ・子どもたちの前で弾くのが緊張した。
・歌詞を覚えてもらうために、どんな曲なのかを説明していた。
・ピアノをもっと強く弾けるようにして、子どもの声に負けないようにしたい。
・「みんな、これできるかな?」と言うと子どもたちは主体的に挑戦しようという気持ちになる。

【公立子ども園】

・担任の先生が元の楽譜をそのまま弾くのではなく、自分でアレンジして弾いていた。 ・楽しかった。
・子どもたちの感情にまずは、共感してあげてから次のことを伝えることで落ち着いて聞き入れてくれること。
・練習では弾き歌いができていても、実践すると止まってしまったり、ピアノから目が外せなくなってしまうこと。
・子どもたちの知っている曲を知るべきだと思った。・歌唱活動では、大きな声で歌っている様子が見られた。
・音楽活動で担任の先生と子どもがピアノとダンスを混ぜて遊ぶところを見たが、リズムに乗って、子どもたちが楽しく元気に取り組んでいる姿を見て、自分でもやってみたいと思った。
・ピアノを間違えても弾き続けていれば子どもたちは歌ってくれるし、自分が思っていたより元気に歌ってくれる。
・ピアノの音で静かになったり、興味をもってきてくれる子どもがいて、ピアノが弾けることは大切だと感じた。
・障がいを持った子どもへの対応に慣れて、仲良くなれたので、子どもとの関わり方を学ぶことができてよかった。
・子どもたちは身体を動かしたり、何かの動物になりきることが好きなため、リトミックがとても盛り上がった。
・3歳児は歌いながら体を動かしたり、表現したりすることが好きだという事がわかった。
・保育者はただ弾き歌いをするのではなく、目線は常に子どもたちの方を確認し、声がけしている様子が見られた。
・年中年長クラスでは、歌詞をピアノの横に貼ることで歌いやすいように工夫されていた。
・歌を歌う時に必ずピアノが必要だと思っていたけれど、手拍子をしたりするだけで楽しく歌えることがわかった。
・音楽用いたとき、子どもたちの行動に変化があり、音楽の力は偉大だと思った。
・歌唱活動の指導方法について。
・新しい曲を歌う際、その曲に合った絵を見せて視覚的に覚えることで曲のイメージをしやすくなったと思った。
・歌うというよりも、リトミックの活動を通して身体を動かすことが好きな子どもが多い印象だと感じた。
・楽しそうに歌ったり、踊りながら歌っている子どももいれば、ただ立っている子どももいた。その子どもたちも楽しく活動に参加できるような工夫が何かできればよいと思った。

【私立幼稚園】

・実習初めは自分のピアノや弾き歌いばかりに意識がいったしまったが、実習をやるにつれ自分のことだけでなく、子どもたちが気持ちよく、達成感を得られるようにすることが大切だと気付いた。
・メロディのみでも弾き続けていると子どもたちは歌うことができていた。
・焦らず、楽しんで活動すること。
・練習では弾けていても、本番子どもたちの前に達夫緊張により間違いが多くなってしまった。
・歌う前にどんな内容であるのかを子どもに知ってもらい、頭の中でイメージできるようにする。
・子どもたちの意識を自分に向けるための声掛けの種類を増やした方が将来に役立つと思った。
・自分が楽しく歌ったりすることで、子どもたちも楽しく歌ってくれたので、自分の表現は大切だと思った。
・子どもの前でピアノを弾くことを慣れておくことが大事。
・子どもたちの自由な発想や表現を大切にしたい。
・子どもを前にすると緊張してしまうので、たくさん練習をしてすらすら弾けるようにすること。
・止まらずに弾けることが大切であり、ピアノを間違えても歌のみで繋げることが大切。
・ピアノを弾いて、間違えたり止まったりしても子どもたちは元気に歌い続けてくれるので、落ち着いて自分も大きな声で歌いながらまた弾き始めることが大事。
・自分の弾く歌で、子どもたちが楽しそうに歌ったり、歌に関する動作をしたりする姿を見られたのが嬉しかった。
・保育者は、ピアノが苦手でも歌声が楽器になるということ。
・ピアノが止まっても子どもは歌い続けてくれる。
・子どもたちの様子を見ながら弾き歌いを行うことが思っていたよりも難しく感じた。
・自分自身が楽しむこと。
・ただ歌を歌うよりも、歌いながら体を動かすことで、子どもたちもより楽しく音楽活動ができると感じた。
・ピアノの設置されている向きが壁で、後ろの方を見ながら弾かなければ子どもの様子が見られなかった。
・歌うのが好きな子が比較的多いと感じた。
・子どもたちは歌詞がわからないと一気に声が小さくなっていった。
・子どもたちに助けられた部分も多かったため、1人で抱え込みすぎないことも大切だと感じた。
・「かえるのがっしょう」を大きな声で楽しく歌ってくれて、歌う時間以外にも歌ってくれたことが嬉しかった。
・実際に子どもたちを前にして保育をしてみて、とても楽しかった。ピアノを間違えても止まらず、元気に歌うことで子どもたちも不安がらずに楽しく歌ってくれた。
・歌の活動じゃなくても、保育者や実習生のピアノの音を聞いて歌を歌う子どもたちが多かった。
・保育者がうまくピアノを弾けなくても、元気よく歌えば子どもたちは元気よく歌ってくれる。
・クラスによってリトミックの時の反応が違く、楽しんでいる園児や少し難しそうにしている園児など様々だった。
・年長クラスでは、先生がわかりやすく書いた楽譜を見てピアノを弾く子どもや友達と一緒にピアノを練習する子どもの姿が見られた。また絵本や話の途中で「かたつむり」や「ももたろう」などの単語が出てくると歌いだす子どもの姿が見られた。
・制作活動を活かし、歌ったり、音を鳴らしたりすることができたのはとても良い活動だったと感じた。
・ピアノを少しミスしても子どもたちは気にせず元気な歌ってくれた。
・ピアノは、あまり緊張せずに弾き、楽しく引いた方がよい。
・間違えても子どもたちが盛り上げてくれた。
・ピアノだけでなく歌も歌えるように、もっと練習を重ねたかった。音楽活動が大切だと思った。
・ピアノだけではなく、木琴・鉄琴もできるようにしておくとうれしいと感じた。
・子どもたちと一緒に歌う時には、歌詞の部分部分を強調し、支援しながら歌うことが重要であると思う。
・子どもたちの前で弾くのと、自分で弾くのでは感じ方全然違ったため、たくさん子どもたちの前でピアノを弾いて慣れることはとても大切だと思った。
・子どもたちに考えを求め、視野を広げる大切さ。・間違っても歌もピアノも止めないことが大切。
・ピアノを弾くことで、子どもたちが楽しく過ごすことができていた。
・保育者としては、ピアノを弾くことは「嫌」と感じる人もいるが、子どもにとっては大切な時間であると感じた。
・年長児は大太鼓や小太鼓など、小打楽器以外も使用していたが、こどもそれぞれのできること(リズム感や体の大きさ)によって子どもが担当する楽器をさりげなく保育者が選ぶようにしていた。
・子どもにとって、音楽は心が豊かになるので取り入れるべきだと思う。
・子どもの人数がとても多かったため、活動をする前にまとめることが難しかった。

【私立子ども園】

・同じ曲でも、先生によって伴奏の仕方が違うと思った。 ・子ども達と楽しく音楽にふれること。
・弾き歌いを行った際に、無理に歌声を大きくするのではなく、ピアノの音を小さくすると良いと学んだ。
・保育者が楽しまないと、子どもも楽しむことができない。思い切り行うことが大切である。
・保育者は子どもに「何がいい?」と聞いて、子どものリクエストした曲を即興で弾いていた。
・保育者は、子ども達を退屈させないように、曲のスピードを変化させたり、問いかけたりと工夫していた。
・子ども達のモチベーションを上げるためにピアノを使うととても良いことがわかった。
・楽しくなるような声掛け。
・間違えても止まらず、子ども達が歌詞を覚えきれていない時は、口に出して伝えながら歌うといいと思った。
・「ピアノが苦手なら違うアプローチの仕方でも子どもに歌うことの楽しさを伝えられるようにしたい」と教えていただいたため、自分なりの音楽活動の方法を学生のうちにたくさん考えていきたいと思う。
・子ども達と楽しく音楽にふれることはとても大切だと思った。 ・先生の動きは、一日目に細かくメモをする。
・保育者はたくさん練習しておくことで、子ども達と歌うとき、楽しく余裕をもって行えると感じた。
・どんな気持ち、表現で歌ってほしいか伝えること、1つ1つの物事を声かけによって繋げていくことを学んだ。
・5歳児は、自分が想像していたよりも新しい曲の歌詞を覚えるのが早いことに気がつき、驚いた。
・1人で練習するときにも、歌ったり周りを見ながらピアノを弾く練習をすると、現場でも弾けると感じた。
・ピアノが弾けなくても、たくさん練習して堂々と弾くこと。 ・歌詞をしっかりと伝えること。
・1人が楽しそうにしていると、周囲の子どもまで興味をもって取り組んでいた。

6. 考察・まとめ

アンケート集計結果から、実習園の形態に注目しながら考察をすすめていく。まず、公立・私立幼稚園・こども園の全ての園に共通で、取り組んだ音楽活動で一番多かったのは、歌唱活動で、その次にリズム遊びと楽器演奏と続いた。

ピアノを弾く機会があったかの問いに関して、私立幼稚園・こども園では、90%以上の学生がピアノを弾く機会があったことがわかったが、公立幼稚園・こども園では50～75%となった。事前に練習してくるよう指定された曲目があったかの問いについても、私立幼稚園・こども園では80%以上だったが、公立幼稚園・こども園では、50%となった。

また、幼稚園で事前に練習してくるよう指定された曲は、公立・私立関係なく、幼稚園・こども園の全てに生活のうたが共通していることがわかる。その他、季節のうたとして、梅雨に関連した「かえるのうた」や「あめふりくまのこ」などの曲や、時の記念日が近いことから「とけいのうた」「大きな古時計」、実習期間が父の日も近いため、「えらいソパ」や「すてきなソパ」など、イベントに合わせた曲を歌っていることが読み取れる。キリスト教や仏教など特色のある園においては、「讃美歌」等の宗教曲にも取り組んでいることがわかった。

学生の話によると、これらの事前に練習してくるよう指定された曲の中で、楽譜が配布された園と自分で準備するように指示があった園の2通りあったことが見えてきた。楽譜の配布があった園で、5曲以上楽譜を渡され、必死に練習をして実習を迎えたが、実習では1回も弾けなかったとがっかりして帰ってきた学生や、楽譜の配布が無かったため、自分で準備をした

が、普段子どもたちが歌っている調と違いがあり、子どもたちが歌えずに終わってしまった学生などがいた。楽譜配布の有無に違いはあっても、多くの学生は実習に向けて良い準備をしようと、それぞれピアノの練習に取り組むが、学生にとっては『ピアノを弾く』ということに大きな負担とプレッシャーがかかっていることがわかった。

自由記述の「音楽活動をするために必要だと思う事はどんなことですか？」の問いについて、「保育者(実習生)も一緒に楽しむこと」ということが多く挙げられていた。また、「子どもたちと一緒に楽しめる環境づくり」や「子どもと一緒に歌う」「子どもの様子を見ながら、子どもに合わせる」など、実習で子どもたちを前にすることで、自分ではなく、子どもを中心に考えられるようになっているようだ。また「ピアノの練習」や「事前準備」「弾き歌い」など技術的にもっと力をつけたいことも挙げられた。更に、技術面に加えて「曲に合った表情や雰囲気に合わせて伴奏を弾く」「歌い終えた後の子どもたちへのフィードバック」「子どもの意欲・興味を引き出すような活動」を目指したい、と一歩先を考えた内容も書かれていた。

「音楽活動に関して困ったこと」については、「子どもに指示が伝わらなかった」「子どもがついてきてくれなかった」など子どもたちを前にすると、想定外なこともあり、想像と違う事でうまくいかなかった反省もあった。その中でも1番多かったのは、「ピアノ」についてだった。「途中で止まってしまった」「子どもの様子を見ながら弾くことができなかった」「間違えても弾き続けることができなかった」「途中から弾きなおすことができなかった」など、練習ではうまくいっていたことが緊張からできなくなってしまったことや子どもたちの想定外の反応があり、動揺してしまったことなどが読み取れた。

「実習前に準備しておけば良かったと思う事はどんなことですか？」については、「事前準備」「練習」のほかに、季節のうたや子どもたちが好きな歌、一緒に楽しめる音楽の「レパートリーを増やす」ことが多く挙げられていた。手遊びやペープサート、エプロンシアター・パネルシアターなど、隙間時間にできることを用意しておけばよかったなど、実習を経験して気づいたことが多くあったようだ。

最後の「その他、感じたことや気づいたことがあれば自由に書いてください。」では、予想していなかったときの対応力や臨機応変な対応が求められている事、自分の声掛けで子どもたちに助けてもらえたこと、「ピアノがないといけなと思っていましたが、手拍子をするだけで楽しく歌えるということに気づいた」「ピアノは苦手でも歌声が楽器になるという事」「保育者が元気に歌えば、子どもたちも元気に歌ってくれる」など、前向きな気づきが多かった。

様々な意見が寄せられていたが、実習でしか気づけない事、感じられないことが多く、学生にとっては学びの深い実習だったことがアンケートから読み取ることができた。

7. 本学に届いている就職試験(ピアノ実技)について

現時点(8月下旬)で、本学に届いている幼稚園や保育所に関する求人は、48件だった。その中で、就職試験の内容で「ピアノ」や「実技」と書いてある求人は22件、課題曲があるのは22件のうち2件だけだった。その他は、自由曲と記述してあったが、弾き歌いと明記されているのはなかった。

毎年、学生は自分が希望する園の就職試験について調査し、ピアノ実技と書いてある園に問い合わせをすると、「弾き歌い」での試験と言われるケースの方が多い。「保育表現技術 器楽Ⅱ」の授業では「弾き歌い」に取り組んでいるが、選択授業となっており、2年生になるとピアノから離れてしまう学生もいる。就職試験前に慌てることがないように、就職試験に関する実技についても学生と共有し、試験だけではなく将来の現場で生きていくような情報や内容を検討していくことも必要であると考え。

8. おわりに

幼児教育の音楽活動にはピアノが多く用いられ、アンケートの結果からピアノを弾くことへの不安や負担を感じている学生が多いため、楽しんで音楽活動をしている学生は少ないのではないかと推察する。子どもたちと一緒に楽しむ時間となるような工夫をして、音楽活動が「遊び」の感覚で、音楽と触れ合う時間になってほしいが、これまで当たり前保育の現場で活用されてきたピアノから簡単に離れることは難しいだろう。カリキュラムにもピアノの授業があり、実習でもピアノに取り組まなければならない現実はあるが、苦手意識の強い学生が多いことから、音楽活動自体に不安や心配事にならないような考えも必要ではないかと感じる。何人かの学生も自由記述に記していたが、「ピアノが苦手だから手拍子をしながら歌を歌った」「自分の得意な楽器を弾いた」など、違う選択肢もあるという臨機応変な対応が必要である、実習先の先生から「ピアノが苦手なら違うアプローチの仕方で子どもに歌う楽しさを伝えられるようにしたい」と言われた学生もいた。

日本の幼児教育の現場では、前述したとおり1日の流れの中でピアノは必要不可欠となっている場面も多い。そのため、主体性や自主性、モチベーション教育を推奨する海外にも目を向けて、どんな音楽教育がなされているのか研究し、多様な音楽表現について考え、教育現場での音楽活動の可能性を広げていくことを今後の課題とする。

また、学生のうちに身につけられるピアノ技術については、最低限力がつくような指導を続けていくことは前提として、「子どもの豊かな感性と表現を養うことができるような、ピアノを使った音楽遊び、そして歌唱伴奏としてだけではなく、楽しくピアノを活用できる方法が求められているのではないだろうか」と吉田(2018)³が述べているように、苦しいピアノではなく、「遊び」の感覚で楽しくピアノを用いる方法を学生に伝えていくことも、今後取り組んでいきたい。

就職試験には、少なくなったとはいえ、求人のある半数の園でピアノの試験が組み込まれていることがわかった。本研究では、保育者から直接実技試験について話を伺う機会が設けられなかったため、試験ではどのような点が重要となっているのか、今後保育者へのインタビューやアンケート等を実施し、考察・検討していく。弾き歌いや音楽表現の授業時間が有意義で、将来の保育現場で活かせるような内容になるよう再考していきたい。

表 1

<p>■研究 1 日本の幼稚園での音楽活動あり方に関する調査</p> <p>■対象：幼稚園実習を経験した学生</p> <p>【幼稚園実習 音楽活動についての振り返りアンケート】</p> <p>※本アンケートは、成績評価とは無関係であり、回答者の個人を特定しないため、回答の有無によって不利益を被ることはありません。本アンケート結果は、教育・研究の目的以外には使用いたしません。</p> <p>① 実習園の形態（設置）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公立園 2. 私立園 <p>② 実習園の形態（種類）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園 2. 認定こども園 <p>③ 実習園の形態（園児数）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 50名未満 2. 50名から100名 3. 100名～150名 4. 151名以上 <p>④ 実習で行った音楽活動について 子どもたちとどんな音楽活動を行いましたか？ 番号に○をつけてください。（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱活動 2. リズム遊び 3. 楽器演奏 4. 手作り楽器 5. ドラムミット 6. その他 7. 音楽活動を行わなかった <p>⑤ 実習期間中、子どもたちの前でピアノを弾く機会ありましたか？ はい ・ いいえ</p> <p>⑥ 「はい」と答え方への質問です。幼稚園実習中、子どもたちの前で何回ピアノを弾きましたか？</p> <p>⑦ 事前にピアノを練習してくるよう指定された曲目ありましたか？ はい ・ いいえ 「はい」と回答した人 その曲目はどんなものでしたか？</p>	<p>⑧ 「はい」の人で、楽譜を事前に渡されていた場合は、枚数と曲目を教えてください。（複数回答可） 枚 曲目：</p> <p>⑨ 音楽活動で特に楽しいと感じたことはどんなことでしたか？ 番号に○をつけてください。（複数回答可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノを弾くこと 2. 歌を歌う事 3. 子どもの様子を見ながらピアノを弾くこと 4. 弾き歌い 5. 間違えないようにピアノを弾くこと 6. 音楽表現 7. 楽器演奏 8. 年齢に合った選曲 9. その他（ ） <p>⑩ 音楽活動をするために必要だと思う事はどんなことですか？</p> <p>⑪ 音楽活動に関して困ったことはどんなことですか？</p> <p>⑫ 実習前に準備しておけばよかったと思う事はどんなことですか？</p> <p>⑬ その他、感じたことや気づいたことがあれば自由に書いてください。</p> <p style="text-align: right;">ご協力ありがとうございました。</p>
--	--

引用・参考文献

- 1 大野 恵美 保育士養成課程における実習での音楽実技についての考察 湘北紀要 第35号 2014
- 2 深谷悠里絵 「保育表現技術 器楽Ⅱ」実習での音楽活動から考えるピアノ演奏技術のあり方～聞き取り調査を踏まえて～ 第58集 2021
- 3 吉田 めぐ 子どもと楽しく実践できる音楽遊びー表現を広げるピアノ遊びの可能性ー 関東短期大学紀要 第60集 p.20～29 2018

- ・川畑尚子 他 表現の基礎となるピアノ授業についてー近畿圏の保育者養成校シラバスから本学のピアノ授業を考えるー 大阪キリスト教短期大学紀要 巻57, p.146-159, 2017
- ・尾崎公彦 他 幼稚園教育要領改訂に伴う保育内容領域「表現」に求められる授業内容に関する考察ー新しい教職課程のモデルカリキュラムとの比較を通してー 川崎医療短期大学紀要 38号 p.55～61 2018

- ・長谷秀揮 保育内容領域「表現」と乳幼児の表現遊びについての一考察―「感性」と「表現」に着目して―
四條畷学園短期大学紀要 巻55 p.1-9, 2022
- ・吉田めぐ 保育における豊かな創造力と表現を育む音楽活動―総合的な表現活動の実践を通して―
関東短期大学紀要 第61集 pp.9～20 2019
- ・中川華那 音楽による幼児の表現活動の意義と保育者の援助に関する研究―人と関わる力を育むために―
岡山大学教師教育開発センター紀要 第5号 p.73～82 2015
- ・及川留美 保育施設における遊びの特性から「幼児教育」の基本について考える―子どもの遊びを支える役割としての保育者―
東京未来大学保育・教職センター紀要 第5号 p.29～36 2018
- ・鈴木裕子 幼児の感性を具体化する試み 保育学研究 第47巻第2号 p.28-29 2009
- ・渡邊雄介他 保育内容「音楽表現」声から音楽へ 響きあう心と身体 福村出版 2022
- ・中野由紀子他 幼稚園教諭・保育士養成課程 音楽表現 そのまま使える基礎と実践 共同音楽出版社 2021
- ・須崎朝子・林加奈他 幼稚園・保育園で人気の創造性を育む音楽あそび・表現あそび 毎日の活動から発表会まで 音楽之友社 2021
- ・駒久美子・味府美香 コンパス音楽表現 建帛社 2020
- ・梅澤実・森本昭宏 保育・教育のための実践事例で理解する「表現」―幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿― 創成社 2020

附記

本研究は、以下の研究助成を得て実施している。

科学研究費助成事業 基盤研究(C) (一般)課題番号22K02478

研究課題名 北欧4か国の事例を基にした幼児期の音楽実践プログラム開発の試み

